

広報 いすも

第54号 平成19年(2007)6月14日発行

古代出雲を見よう! 知ろう! 学ぼう! 『出雲弥生の森博物館』 基本設計がまとまりました

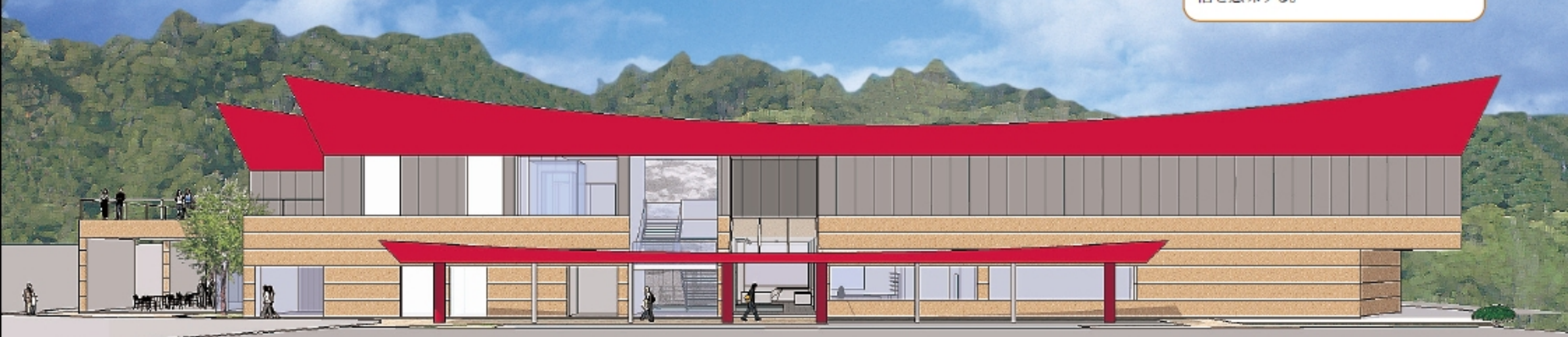
「出雲弥生の森博物館」 その外観は?

屋根のかたち

かやぶき屋根や築地松などにみられる「反り」をとりいれ、出雲地方の文化と歴史を表現。

屋根の色

西谷に眠る王の棺に敷き詰められた「朱」、それをイメージしたダークレッドを採用。その高貴さを象徴し、再生と復活を意味する。



大津町にある西谷墳墓群史跡公園「出雲弥生の森」は、古代出雲繁栄の象徴です。その隣に市が建設する博物館の名称が、この公園名を取り入れた『出雲弥生の森博物館』に決まり、基本設計もまとまりました。

『出雲弥生の森博物館』は、出雲の古代文化と歴史を、知り、学び、体感できる施設です。2階建てで、延床面積は約2800㎡、建設費は10億円を見込んでいます。

1階には、子どもから大人までの歴史学習の場となる体験学習室や体験コーナーがあります。2階には、出雲の弥生時代がぎっしり詰まった展示室や、市内の古墳からみつかったお宝が並ぶコーナーがあります。掘り出された品々を収める収蔵庫をのぞくこともできます。

平成22年春のオープンを目指して、来年1月頃から着工する予定です。



「出雲弥生の森博物館」完成イメージ図

●「出雲弥生の森博物館」についてのおたすねは
文化財課博物館創設準備室 TEL21-6893

目次

高齢者あんしん支援センター	2～3
2007 アイルランドウィーク	10
お知らせコーナー	13～15